

## 中央共同募金会会長メッセージ

赤い羽根共同募金運動が、本日から全国一斉に始まり  
ました。

共同募金は、戦後間もない昭和22年に「国民たすけ  
あい運動」として開始されて以来、長年にわたって国民  
の皆様のご支援とご協力に支えられ、今年で74回目の  
運動を迎えました。

地域で寄せられた募金は、地域で行われる多様なボラ  
ンティア活動や福祉活動、災害時の被災地支援活動に役  
立てられます。

また今年も、とくに3月以来の厳しい状況下において、  
様々な理由から居場所を失い、孤立する方がたの生活課  
題も顕在化してきています。

つながることが難しいなかにも、つながることを  
あきらめず、課題を解決する活動を支援する共同募金  
は、例年にも増してその必要性は高くなっていると思  
います。

つきましては、今年も安全に配慮し、皆様の参加と協  
力をいただきながら、「つながりをたやさない社会づく  
り」の実現に努めてまいります。

国民の皆様からの信頼と期待に応えるため、共同募金  
関係者の一層のご尽力をご期待申し上げます。

令和2年10月1日

社会福祉法人 中央共同募金会

会 長 清家篤

## 厚生労働大臣メッセージ

今年で74回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、本日から始まります。

この運動は、国民の皆様の善意と助け合いの精神によって支えられ、寄せられた寄附金は、我が国の地域福祉の推進に大きく寄与するとともに、災害時のボランティア活動の支援にも役立てられています。

近年、我が国の社会においては、少子高齢化の進展による人口減少、家族や地域社会の変容などを背景として増加する介護・生活困窮など、様々な福祉ニーズが顕在化しております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、困りごとを抱えている家庭、居場所を失われた方などに対する支援ニーズも高まっております。

このため、厚生労働省においては、地域の住民や多様な主体が参画し、しっかりとつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた様々な取組を強化してまいります。

日本の募金運動の草分けとして、寄附文化を育み、住民相互に支え合う地域づくりに貢献してきた赤い羽根共同募金運動が、今後も力強く展開されることを願っております。

本年も、多くの皆様のご支援、ご協力を心からお願いいたします。

令和2年10月1日

厚生労働大臣 田村憲久